

皆が笑顔になる、「フェアトレード」便り No.40 田中惣一商店 2026.3.1

「フェアトレード」「フェアトレードタウン」と「エシカル」など情報発信。

<秋冬限定・フェアトレードチョコレート・入荷>「皆が笑顔になるフェアトレードチョコレート」。美味しいですね。ホワイトデーにも。自分へのご褒美にもいかがですか？

☆「フェアトレードチョコレート試食会」2月8日（日）AM10：00～田中惣一商店にて。約10名参加。フィリピンでカカオを栽培の高山さんの発酵チョコレート、素朴な味でしたね。

<毎月11日「イオン、幸せの黄色いレシートキャンペーン」です。よろしくお祈りします。

<フェアトレードタウンになることのメリット>について、考えてみました。

途上国を支援、国際貢献だけでなく、館山市そのものをより豊かで、持続可能な街に変えるためのメリットがあります。①地域の絆が強まり、活性化する。☆日本独自の認定基準にも「地域活性化」が含まれてるように、これが最大のメリットです。「地産地消」との相乗効果。・・・フェアトレードは「公正な取引」を意味しますが、地元の農家さんや職人さんを守ることで、地産地消、地元のフェアトレードにも繋がります。・・・新しいコミュニティの形成「ビーチクリーン」「和綿プロジェクト」のように多様な世代が共通の目標で繋がるきっかけになります。②選ばれる街へ☆SDGs やエシカル消費に関心の高い若者や観光客、企業にとって、認定は「信頼の証」になります。観光客が、「エシカルな旅」として館山を選ぶ理由になります。次世代の教育、市内学校でフェアトレードを学ぶ機会が増え、グローバルな視点を持って「社会貢献意識の高い若者」が育ちます。③ビジネスチャンスが広がる。企業のイメージアップ。地域のカフェや商店がフェアトレード商品や地元産のものを扱った商品を提供することで、社会的責任を果たしていることをアピールでき、新たな客層の獲得に繋がります。また、販路の拡大として、インスタグラムの発信においても「フェアトレードで活動している」という背景はフォロワーからの共感や信頼をより強固なものに。

<館山ならではの強み>

・・・館山は、世界で貴重な「トラフグの産卵場」や地域特産品「ふぐ始め、美味しい魚類」、「かんべれタス」「ひまわり・ストック・スターチス・カーネーション等など」「スイーツスプリング」（蜜柑）。「房州うちわ」など守るべき、素晴らしい資源があります。自然・歴史・文化・音楽に係る人たちなど、素敵な方々がいらっしゃいます。これらを、「フェアトレード」の枠組みで、再定義することで、街全体の価値を世界水準へ引き上げることが出来ます。

*2026/3/3・・・「大府市が日本で8番目のフェアトレードタウン」に認定されました。おめでとうございます。

*2026/3/3・・・千葉市の神谷市長が議会にて、今年開府900年に向けて「フェアトレードタウン」になる事を公表されました。千葉市の戦略会議の方々も館山市も一緒になりましょうと、応援して下さいます。フェアトレード大学の千葉商科大学の皆様もご協力。

館山を<フェアトレードタウンに！>フェアトレードを通じて、人や地球環境、社会、地域に根差した みんなが笑顔でいられる町づくりで 自然豊かな館山の魅力をさらに高めましょう。